

エネルギー分野における 日本のリーディングカンパニーとしての 役割を果たしてまいります

安全最優先と社会的責任の全うを基軸とした「経営理念」のもと、「中期経営計画」の実現により、株主のみなさまのご期待にお応えできるよう全力を尽くしてまいります。



取締役会長 **八木 誠**

取締役社長 **岩根 茂樹**

株主のみなさまには、常日頃、格別のご高配を賜わり、厚く御礼を申し上げます。

当社第93回定時株主総会に際しまして、ご多用のところご出席賜りましたみなさま、また、書面等により議決権をご行使いただきましたみなさまには重ねて御礼を申し上げます。

連結収支で2期連続の黒字 および5期ぶりの復配となりました

平成28年度の連結収支につきましては、総販売電力量の減少や燃料費調整単価の低下などにより売上高は減少したものの、経営効率化により徹底した諸経費の節減に努めたことに加え、火力燃料費が減少

したことなどから、売上高(営業収益)は3兆113億円、経常利益は1,961億円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,407億円となりました。

当年度の期末配当につきましては、業績が2期連続の黒字となり、毀損した財務体質が改善しつつあることや、平成29年度以降の収支状況など、経営環境を総合的に勘案し、1株当たり25円といたしました。

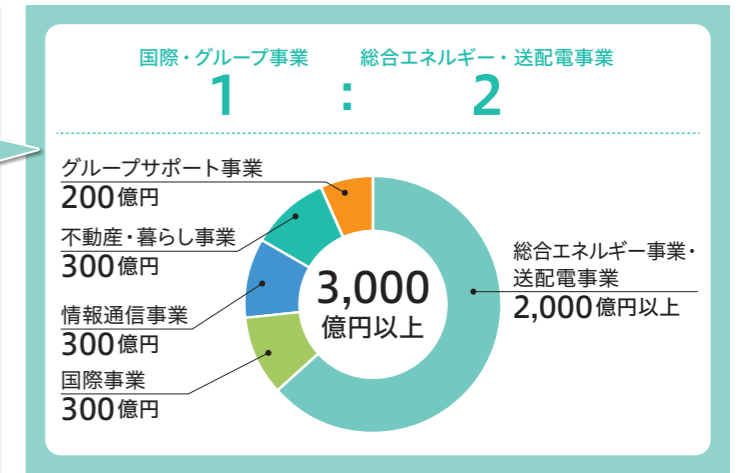
安全を最優先にした原子力プラントの 再稼動と安全・安定運転を 着実に進めてまいります

再稼動を目指している原子力プラントのうち、高浜発電所3、4号機につきましては、本年3月に大阪高等

●中期経営計画における財務目標と実績（連結ベース）

項目	2016年度 実績	2018年度 目標	2025年度 目標
経常利益	1,961億円	2,000億円	3,000億円
自己資本 比率	19.3%	20%程度	30%程度
ROA*	3.4%	3.5%程度	4%程度

※事業利益(経常利益+支払利息)÷総資産(期首・期末平均)



裁判所保全抗告審において運転差止めの仮処分命令が取り消され、4月には運転再開について福井県に報告いたしました。今後とも、安全を最優先に、本格運転に向けて取り組んでまいります。

さらに、大飯発電所3、4号機につきましては、本年5月に原子炉設置変更許可をいただきました。

今後とも、再稼動に向けた国の審査等に的確に対応し、これらの本格運転後には速やかに電気料金の値下げを実施いたします。

「関西電力グループ中期経営計画達成に 向けた重点取組み(2017)」を 策定しました

昨年の電力の小売全面自由化に続き、本年4月にはガスの小売が全面自由化され、エネルギー事業が本格競争時代を迎えました。平成29年度は、「中期経営計画」の進捗状況や経営環境の変化を踏まえて策定した「関西電力グループ中期経営計画達成に向けた重点取組み(2017)」を中心に、事業活動を推進してまいります。

当社グループは、エネルギー新時代におけるさらなる成長を目指し、「競争に『挑む。』」、「未知の領域に『挑む。』」、そして「新たな発想で『挑む。』」ことで、グループ一丸となって「中期経営計画」を強力に推進し、今後ともご期待にお応えできるよう、たゆまぬ前進を続けてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画達成に向けた 重点取組み(2017)の概要

【計画達成の前提】：安全最優先の全う

(1) お客さまにお選びいただくための取組み ～トップラインの向上

- 高浜3、4号機や大飯3、4号機の本格運転実現後に、速やかに電気料金の値下げを実施
- 総合エネルギー事業において、電気に「関電ガス」やグループサービスを組み合わせたトータルエネルギー提案活動の強化・推進
- 国際事業および情報通信・不動産等のグループ事業の積極的展開

(2) コスト構造改革の加速・深掘り

- IoT、ビッグデータ、AI等の最新IT技術(デジタル化技術)の活用による設備高経年化への効率的・効果的な対応
- グループとしてのスケールメリットの活用や、新たな取組み等を通じた調達改革を推進

(3) 安全を最優先にした原子力再稼動と 安全・安定運転

- 大飯3、4号機の再稼動に向けた国の審査等に的確に対応

(4) 将来の成長に向けた経営基盤の整備

- 電力システム改革における健全な競争の仕組みと電力の安全・安定供給の両立に的確に対応
- 送配電事業の法的分離に向けた具体的な体制検討

(5) 「働き方」改革と健康経営の一体的推進

- 従業員の誰もが生産性を高め、健康で生き活きと活躍し、新たな価値創造を促進する「働き方」改革と健康経営の一体的推進